

新型ハイブリッドカー「CR-Z」を発売

Honda は、1.5ℓ i-VTECエンジンと Honda 独創のハイブリッドシステムのIMA (インテグレートッド・モーター・アシスト) を組み合わせ、先進的で躍動感のあるデザインに、俊敏で爽快な走りと 25.0km/ℓ^{*1} という優れた燃費性能を融合した、新しい価値を持つハイブリッドカー「CR-Z」を、2月26日(金)に発売する。

CR-Zは、ハイブリッドカーの可能性をより広げ、新しい楽しさを全身で感じていただきたい、との思いから、「Emotional=見て、触れて、ときめく」「Exciting=積極的に走りたくなる」「Smart=エコで、使えて、自己を解放できる」の3つの価値を持つクルマを目指して開発した。デザイン、パッケージング、走行性能などすべての領域においてこの3つの価値を実現するため、Honda の先進技術を投入した。

<先進的で躍動感あふれる高密度なデザイン>

- 躍動感あふれるワンモーションフォルムによるスポーツスタイリング。
- 運転を楽しめる高い機能性を備えたうえで、先進感と上質感を追求したインテリア。

<Honda 独創のハイブリッドシステムによる走りの楽しさと低燃費の両立>

- 1.5ℓ i-VTECエンジンと小型・軽量のIMAの組み合わせにより、走りの楽しさと優れた燃費性能を高次元で両立。
- 市街地、高速道路、ワインディングといった走行の状況や、ドライビングスタイルなどに合わせて、「SPORT」「NORMAL」「ECON」の3つの走行モードを選択できる Honda 初の3モードドライブシステムを搭載。
- 操る楽しさを提供するため、ハイブリッドカーとして世界で初めて^{*2}6速MTを設定、CVT車にはパドルシフトを標準装備。

<俊敏で爽快な走りを実現するシャシーとボディ>

- 専用のサスペンション、ボディの軽量・高剛性化、徹底した空力処理などにより実現した、俊敏かつ安定感のあるハンドリング。

<快適で安心、毎日使える使いやすさ>

- 普段の買い物や週末の趣味、小旅行などに使える、十分な容量の荷室や収納スペースなど、日常での使い勝手を考慮したユーティリティ。

* 名前の由来=「CR-Z」とは、「Compact Renaissance Zero(コンパクト ルネッサンス ゼロ)」の略。従来のクーペ価値にとらわれず、新しいコンパクトカーを創造するという志のもと、原点(ゼロ)に立ち返ってチャレンジする、という意を込めた。

※1 10・15モード走行燃料消費率(CVT車)

※2 Honda 調べ



CR-Z α

●販売計画台数(国内・月間)

1,000台

-1-

スピードはひかえめに、シートベルトをしめて安全運転。お子様にはチャイルドシートを。

本田技研工業株式会社 広報部
東京都港区南青山 2-1-1 〒107-8556
企業広報 TEL(03)5412-1512/FAX(03)5412-1545
四輪・汎用商品広報 TEL(03)5412-1514
二輪商品広報 TEL(03)5412-1203
FAX(03)5412-1515
URL <http://www.honda.co.jp/>

Honda Motor Co., Ltd.
No. 1-1, 2-Chome, Minami-aoyama
Minato-ku, Tokyo, 107-8556 Japan
Corporate PR 03-5412-1512/Fax 03-5412-1545
Product PR Automobile, Power Product. 03-5412-1514
Product PR Motorcycle 03-5412-1203
Fax03-5412-1515

●生産

鈴鹿製作所

●全国メーカー希望小売価格

◎印は写真掲載タイプ

タイプ	エンジン	トランスミッション	駆動	消費税込み	(消費税抜き)
β	1.5ℓ i-VTEC + IMA	CVT	FF	2,268,000 円	(2,160,000 円)
		6MT			
α		CVT		2,498,000 円	(2,379,048 円)
		6MT			

◎

※ 価格には、保険料、税金(消費税を除く)、登録などに伴う費用は含まれない

※ 自動車リサイクル法の施行によりリサイクル料金が別途必要。リサイクル料金は、リサイクル預託金(シュレッダーダスト、エアバッグ類、フロン類のリサイクル等に必要費用、情報管理料金)及び資金管理料金の合計金額

※ プレミアムホワイト・パールは31,500円(消費税抜き 30,000円)高

○ボディカラー(全7色):ダークピューター・メタリック(新色)、ホライゾンターコイズ・パール(新色)、
プレミアムホワイト・パール、ミラノレッド、ブリリアントオレンジ・メタリック、
クリスタルブラック・パール、ストームシルバー・メタリック

○インテリアカラー(全1色):ミディアムグレー、αタイプには本革シート(ライトグレー)をメーカーオプションで設定

◆「CR-Z」の主な特長

●エクステリアデザイン

- ・走りの機能美と、ハイブリッドカーの先進的でクリーンなイメージを高密度に凝縮したデザイン。
- ・フロントビューは、存在感のある大開口のフロントグリルと、フェンダーの張り出しを強調した面造形でワイド感を表現。
- ・サイドビューは、軽快感とスピード感を強調したワンモーションフォルムとし、空力を追求したドアミラーやアウトードアハンドルなどに、専用デザインを採用。
- ・リアビューは、大きく絞り込んだサイドウィンドウ後部からリアフェンダーにかけての造形や、バンパー下部に配置した大型リアディフューザーなどにより、軽快感と躍動感を表現。
- ・緻密でクリーンな印象を持たせたフロントヘッドライトの下部に、白色LEDを採用した横基調のポジションランプを設置し、先進感を強調。

●インテリアデザイン

- ・機能的で先進感のあるデザインと、スポーツにふさわしい軽快感・爽快感を表現。
- ・フロントコンソールボックスやドアグリップには高輝度メタルインテリアガーニッシュ^{※3}を備えるなど、上質感を追求したインテリア空間。
- ・運転席側は運転に必要な機能を集中配置し、スーパー3Dメーターを中心に、その左右に水平基調のバー表示とした計器類をレイアウト。高い視認性と、クリスタルブルーの照明による未来感を演出している。

※3 αタイプに標準装備

●パッケージ

- ・俊敏な走りと操縦性、躍動感に満ちたスポーツスタイリングを実現する、低全高・ショートホイールベース・ワイドトレッドの「低・短・ワイド」パッケージ。
- ・エンジン高を抑え、サスペンションレイアウトの工夫などにより、ボンネット高を抑制。低全高とすることで、スポーティーなドライビングポジションを実現している。
- ・Honda 車で最も高曲率のフロントウィンドウと、新構造のフロントピラーの採用により、ワイドな前方視界を実現。

●パワートレイン(ハイブリッドシステム)

1. 5ℓ i-VTECエンジンは低回転時に2つの吸気バルブの片側を休止する1バルブ休止VTEC機構を採用し、高出力・低燃費・クリーン性能を高次元で達成。IMAとの組み合わせにより2. 0ℓエンジン並みの加速性能と圧倒的な低速トルクを実現した。
- ・スポーツ走行にも適した6速MTを専用設計し、爽快なシフトフィールを実現。CVT車にはパドルシフトを標準装備し、低燃費走行からスポーツ走行まで自在に対応できるようにしている。

●3モードドライブシステム

・DBW(ドライブ・バイ・ワイヤ)、モーター、トランスミッション、EPS(電動パワーステアリング)、エアコンなどを統合制御することで、積極的に走りを楽しむSPORTモード、走りや燃費性能のバランスに優れたNORMALモード、実用燃費向上を図ったECONモードを選択できる。

SPORTモード : エンジンのレスポンスを高め、6MT車はモーターのアシストレスポンスを向上し、CVT車ではエンジン回転数が高めになる変速比として加速感を強調。EPSは手応えのあるステアフィールが得られる設定とし、ワインディングなどで力強い走りを楽しむことができる。

NORMALモード : 低速域から力強いトルクを発生するハイブリッドシステムの特性を活かし、日常の扱いやすさを追求。軽快なフィールが得られるEPS設定とし、キビキビとした走りを可能にした。

ECONモード : エンジンのスロットル開度を控えめに制御しながら、最適なエンジン効率を求めたモーターアシスト、エアコンの省エネ運転、アイドリングストップ時間の延長などにより、実用燃費向上に貢献している。

・スピードメーター外周のリング状アンビエントメーターは、NORMAL/ECONモード時には、低燃費走行をするほど照明色がブルーからグリーンに変化し、低燃費運転を視覚的に支援。SPORTモード時は常時レッドに点灯し、いっそうのスポーツイメージを演出する。

・クルーズコントロールを α タイプに標準装備。ECONモード時ではSPORT/NORMALモード時に比べ、スロットル開度と開閉頻度を抑えることで、燃料消費を抑制している。

●シャシー

- ・フロントにはスペース効率に優れ、低全高・低重心ボディに貢献するマクファーソン・ストラット式サスペンションと、軽量化に貢献するアルミ鍛造製のロアアームを採用。リアにはIPU(インテリジェント・パワー・ユニット)の荷室床下への配置を可能にする、コンパクトなH型トーションビーム式のサスペンションを採用し、軽快なハンドリングと高い操縦安定性を両立している。
- ・高出力EPSの採用により、ロック・トゥ・ロックが2.48回転というクイックなステアリングギアレシオを実現。ステアリングギアボックスの取り付け剛性を高めたことと合わせ、ダイレクト感のあるキビキビとしたステアフィールを可能とした。
- ・高いデザイン性を持ちながら、1台あたり5kg軽量化^{※4}したアルミホイール^{※5}とスポーティーなトレッドパターンのタイヤを採用し、俊敏な走りを実現。

※4 インサイトLS(2009年モデル)比

※5 α に標準装備。 β にメーカーオプション

●ボディ

- ・俊敏で爽やかな走りを楽しめ、燃費性能にも貢献する軽量かつ高剛性なボディ。
- ・新構造のフロントピラーや新開発のドアミラーの採用、ボディ下面の整流処理など、ボディ各部にわたって空力を追求。空力には不利な短い全長、ワイドな全幅ながら、インサイト^{※6}同等の空力性能を達成した。
- ・フロントピラーインナーロア、サイドシル、ミドルフロアクロスメンバーに、780MPa級以上のハイテン材(高張力鋼板)を使用したほか、各部に効果的にハイテン材を配置することで、軽量化と優れた衝撃吸収性能を実現した。
- ・遮音・吸音処理を適所に施すなど静粛性を高め、室内に透過する加速時のサウンドをチューニングし、エンジン回転に同調した心地よいスポーツサウンドを実現した。

※6 2009年モデル

●ユーティリティ

- ・HondaハイブリッドシステムのIPUを荷室床下に配置するなど高度なパッケージング技術により、リアシート使用時に荷室長770mm、荷室最大幅990mm、容量214ℓ^{※7}を確保。
- ・前席からもワンアクションで倒せる可倒式リアシートを採用。リアシートをフォールダウンすれば荷室長が1,280mm、容量382ℓに広がり、荷室空間の使い勝手がさらに向上する。

※7 VDA方式による Honda 測定値。床上と床下の合計容量は233ℓ

●Honda HDDインターナビシステム+リンクアップフリー

- ・全タイプにメーカーオプションのHonda HDDインターナビシステムは、自動車業界で初めて^{※8}通信費無料^{※9}で各種情報サービスを気軽に利用できる新サービス「リンクアップフリー」に対応。「インターナビ・プレミアムクラブ」会員は、車検時に Honda 販売店で更新手続きをすることで、ご購入いただいた車両を所有している間は通信費無料でインターナビの情報サービスの利用が可能となる^{※10}。

※8 Honda 調べ

※9 装備された専用通信機器と、株式会社ウィルコムとのPHSデータ通信サービスを利用したデータ通信のみ対象。その他の携帯電話などを利用したデータ通信およびハンズフリーテレホンによる音声通話の通信費はお客様の負担となる

※10 車検時に Honda 販売店で更新手続きをしていただくことが継続の条件。Honda 販売店で車検を受けた場合は更新手数料無料。Honda 販売店以外で車検を受けた場合には、別途更新手数料が必要

●環境性能

- ・10・15モード走行燃料消費率で25.0km/ℓ(CVT車)、22.5km/ℓ(6MT車)、JC08モード走行燃料消費率で22.8km/ℓ(CVT車)、20.6km/ℓ(6MT車)の低燃費を達成。
- ・全タイプ、国土交通省「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定を取得。
- ・全タイプ、国土交通省「平成22年度燃費基準+25%」を達成し、昨年4月から施行されている「環境対応車普及促進税制(自動車取得税と自動車重量税の減税措置)」と「環境対応車普及促進対策費補助金」に対応。

●安全性能

- ・自己保護性能の向上と相手車両への攻撃性を低減した、コンパティビリティ対応ボディを採用。
- ・頭部や脚部などに対する衝撃吸収構造を採用した、歩行者傷害軽減ボディを採用。
- ・乗員の体格や着座位置、衝突形態により幅広く対応する、運転席用i-SRSエアバッグシステム<連続容量変化タイプ>を全タイプに標準装備。
- ・側面衝突時に頭部や頸部への衝撃を緩和するサイドカーテンエアバッグシステムを、前席用i-サイドエアバッグシステムとセットで設定^{※11}。
- ・旋回時などの走行安定性をさらに高める、VSA(車両挙動安定化制御システム)を全タイプに標準装備。

※11 βの6MT車を除きメーカーオプション

お客様からのお問い合わせは、「お客様相談センター 0120-112010」へお願い致します。

「CR-Z」の広報資料は、下記よりダウンロードしていただけます。
ダウンロードは Internet Explorer 等のブラウザソフトを使用し、直接 <http://www.hondanews.info/>と入力してください。
(このサイトは報道関係者専用とさせていただきます。)